名稱の變更は實質の變更を意味する

反對の好機をねらふ政黨

は京流に他力能能をとして政府重要層に東京には一日の開

いつくあるも消息通の意見を綜合す

國策七大綱を決定

項目を内閣

一般に河管、藍田首相以下金銀院出定側就職は午前九時年より首相官 【東京塩苗】版田内駅の馬政一軒 定例閣議經過

を思ふ、例へば司法省ので 値の如きを研究するもので しゃく 別へば司法省のこと

と質しこれに對し版田首相、馬場

巡に就ては文歌闘新の一項目と

との趣言あつたが結局国策の決定

との脚揺もあり又復放料を見るこ 艦的決定の質励期については財政 國策項目の

こんなところにあやず 暗

織い思ひをしわえう

のだったつな

-

作 繒

903

追應

と消えて失せる。」

部を著へ開十二時半版館した ついては如何なる虚置を辞して質風期を遅らせんとしてゐるが項目中に含まれてゐない事」皆に親て長文弟最亲の一項目と 意見の對立を見てゐるものありは 標でありたほこの間難像各省間に 文相は質廉期を急ぐ肚を決めた抗

て今後に懸されてゐるわけである

所有關級において意見一致を見 問題を惹起する供れ十分にありて 問題を惹起する供れ十分にありて 可とのには興味水磯和の知器・ド

催の無效一類断行を験型する寺!

を行けしの更に前田臨村、永田市

戯母の四相節節を聞いて國気貿月産母、永財産組と版田首書、忠皇

を決定、各職院の原解を求めて

かけて後足したものである

既弥禮監初出席の上副館、先つ矢 するに決定しモスコー政府にアケ時十分から本暦第三宮証宗に大野 として前外務次郎重光奏氏を起出 を制定例高度可能は

中五日午到九 明して

るたところ有田外相は後任 大野總監初の出席

たっおいらと一緒にさつさと職 指一本指さすこつら

一強つて取りたくば刀に

一お削さんちやねえどの思を知ら

「あッ。お削さんは

れた時、怨龍を呼びに行つた角力

西本な底部長から新遺返作漁業に り 祖出原風力の酸工に親いて報告を

発阿位動一等 育される管である 紀傳達の上一兩日中に左の如 P全權大使 大田 聯邦駐割被仰付

けふも巡視 大野政務總監

募集日報(4) 水害義捐金

四届三十五銭【累計】一千五百銭▲七圃八十銭經學院(日計))小金屬秀▲六圃五銭京城日報社

仲間はおつと離を添して嘘を握一乗る侍川掛けて、微

|電日へ打も下した。 はした文之助は、今 も掛つて来た。が、

をこつそり脱け出して、脳にまぎ 第を連れて行く家

つ 「てめえ、ほ、ほんたうに斬る者」 一般に握ったな

に確からにゆつと駆れた母の繋ば、る。てめへはまだ五人力の鬼害のになった時のと殴れた母の繋ば、る。てめへはまだ五人力の鬼害のといってが、それと同様といってが、それないのではない。そんな範児が 吐かすどり、野邸をこつちへ渡し『何であらうが、この先アいつち た話けて辿れるったれるだ。 公は出来ねえ

田内原は二・二六事戦直後極度に「の歌明を郷し祖服後三月十七日の」した後郷表し近田呂駅としては監は今世五日の翩離で孫定した。と、祖職学ばにして熙改革新歌行「忠宗方武の歌明武を決定上間に達は今世五日の脳雄で孫定した。と思郷一新の旗をあげる國家項目「新を旅行すべく趣能のけられてゐ」 庶政 革動 を 使命とする【東京在書】斯田凡服の金谷板だ「竪頭した交換の中に既立し臨総革」 認論で |集皇位置|| 政府は組織名初の整明に基さ無政一新の質を影ぐべく関東の間立を急ぎ各省において立案せる。十数項目に同る関策につ 國策決定までの經過 判済重要を取確立邦人の海外發展助長等が発展の海外登展が長等 產業振興及貿易伸張 置燃料及鐵鋼の自給 政機構の整備改善民政策及投資の助長策等

新貝人事調長等を除作一路京城に りあり賑つた

提出、版出資租、国金鞍相の手は交害をもつて内限及び各省には交害をもつて内限及び各省には交害をもつて内限及び各省に同意の開窓で開設を申止し各省の開窓の開窓を開発を開発したる。 **・ 惹起して開催金體に及び延**りた場合、主管開催の面目開 に策が阿策として採擇されな 見解の相違 あるのみた

方調査局をして周局において確等。パステヤン集團七哩のセカルハー名提出の関策説の下調査を命じ、「没の建設によれば二十四日サンセ

一高プランス人山名を推へ銃役に属 ンにおいて鉄軍は政府軍に加州せ

といふことも聞いてゐない。またフルス人が叛軍のため針散されるる事實は全然ない。またフ政府軍にフランス人が参加し

マン到着 けふアグレ

に定を載るためかねてより難感表

總統突如緊急令

至つたのでこれに拮抗のためと見られるが何れにしても戦部の國際総局は漢族機能の敵患性から益々軍大体するに至つた十九歳に引下げて赤軍の兵力増加を図り平時においても後に1.1百萬の兵政を整備するに至り此ヨーロッパ西部國境の軍備を元間するに、ヒットラー幾歳が所の如き非常手蔵に 虚べるに至つたのはソヴエート 職職が歴史徴兵年齢を脱止し継承の二十一議より がヒットラー翻訳は二十四日突如鹿海京軍の「兵役財刑間を一ケ年延長し一律に一ケ年とする旨の緊急で与を「バロッ二十五月同盟」ドイク、ソウエート間の軋酔はスペイン四駆を埋機として一般増大し戦闘艦隊は認恵の交流に確はれてある 猛然睨み合ふ獨蘇

れは節なる口質に過ぎない、 英佛に衝動を與ふ 田たことは誠に遺憾に堪へないとしてゐる。しかして政界では右翼方面はドイツの行賃はソヴェ 娃直す意向に解される 大なるものと見込まれてゐる、ドイフ感度は長空が問題長と同時に國內人的
一般六十萬であるが、今回の兵役期間一ケ年延長により約百萬(ビバルリン二十四日間閏 銀銀ドイノの薩派兵力は志願兵と正郷兵と早々づつの に多大の衝動を異へ政府館では歐洲情勢の被建航器せる時期にドイクに多大の衝動を異へ政府館は、ドイクの決役期間変長の最はイギリス政界

・、五大電力資産の合同に依る機制が一、電源事業法の離化に依る機制が能力で電力ト級が国策の一とじて取上げられても結局その直案は

した氏海隣祭でもよい筈だがこれを殊更に統制とした島から見れば明かに長春隣祭によした氏海隣祭でもよい筈だがこれを殊更に統制とした島から見れば明かに長春隣祭によ

電力國營の運命

するものである』との攻撃を恐れ中途半端な無え切らない際,度を取つてゐた歐緒は、 感所徴軟化の經好の惣姫として立る軟化した以上巡米「恵生竜上にある跋鮠が竜力國營総に反射することは蹤跡が晩祭と して資本家の供置であることを認明 **思れかの方法によるととなり、騒動に退塞されるものと見られる、しかしてこの提続者である 政府側の急向がかくの如**

てして国産問題の採板消を行ふのお苦らであらう、との軽調も耐 天有力化した複線で現内駅の革新 政策の一総つて譲<equation-block>路に掲載されても影聴来引かれ 密の版本概修正で能能通過となるか、 若しくは能度会員の電力等

内閣發表

昭和十二年度以降において重 機理を行つた結果二十五日の謝議で満く左記項目を採擇に決定した 國民生活安定中央地方を通ずる稅制整理 設すべき事項左の如し

前途なほ波瀾

段新作工新

農山漁村経済の更生振興及中小商工保険施設の擴充

質班を提示し纒内一致して画策略(法部局長郎、吉田調幹局長郎に合き降り、各番に乗して重新地質の「提出を暫任、無消謝記官長、太田

一定をした案と語合機が全行はしめ

「バムノラナ甘四旦開盟」叛軍将したと称してある、なは叛軍

をするとその分には諸て置かぬ 「その話了描海の京、総多な異位」から姓信しる。」

水刀をいきた 文之助と名

扱き程、したたか総打ちに忠吉の 微塵になれと打 度は刀を引き 諸理く身をか

相にしる、判にしる、

天地玄黄 兄城踞信分攀局長 廿四日

√足を踏み出した ばかりうと! 一度用き ペト゚゚゚ーが記録だららがいひたいが、遺骸ながらまだ(職) めえだ。 第たらうが記録だららがいひたいが、遺骸ながらまだ(職) 一度御殿へ這人つたからは、お姫 歌つたんだ。しかし、 歌みとあれ から がつたなっ」

ちに、きり~~立ちやアがれる れて逃げようたア飛んでもねえ不 「よし、望みとあれば断つてや **万魚のやうなそ** 断れるもんな

だ。――どうだそれとも弟をこの一致みと ある ゆゑ 断つてやるん

つに一つの返事 い色黒ま綺焦一 ら白のす躍け日 ずに方。になく のなでど白らら 融るもんく三ん 法お忽なな日の //金ち色リで日

で大熟るにてなと雇
す合らあコ評る添辞が登録のしまにのの百大空文 で大熟るにてなと雇
す合らあコ評る添辞が登録のしまにのの百大空文 変た、肉ハ賓六家の章 す資狂の書手文上ながいるは一でててま用な情華空發策が物十が一と っ行的でけ輕章手字綺ガ場あ册す大あて語ハ味附前表のキ大牧二流文 で行的でけ輕章手字綺ガ場あ册す大あて語ハ味附前表のキ大牧二流文 でおります。 しまにのの百大字



集方編の特獨るめ編く早手が型新の秋の用生學女人婦用兄女男用んや

本府社館派の十五日現在の水里状

水害狀况 本府社會課調へ

石派を

あげ

売朝宣によれば、被既のひどいの

で大米七〇に達したので、流域各で大米七〇に達したので、流域各

「武文均水し、午後六時には韓州

驪州六米七〇 流域警戒

「戯、三浪推開の披蔵工事調量

月京城礁堀地へ出郷した 測量的は二ヶ月半の豫定で二十四 のため、斑長却井牧子外十六名の

5城仁寺町四八金版編書

界的のもので、現在今度初めて知つた。

名は日下都液械宜中だが、同害で 東大門警衛生館は緊張、あとの二

はチフスと診断されたので俄落! に廿四日三名の即背が親生、一名

てゝ歸らぬ女夫と子供を拾

に鑑み

補助を得て組織された水防蟹に豊 各道水防殿へ右に開する道牒を建 ることになり、廿五日繁砂局から してその活動を歴史、微歌した 立 総 活動脈況 名水防腐く他の繁肪機関との聯 名水防腐く他の繁肪機関との聯 名 総 活動脈況 **弾滅したる事例** (ロ) 水防腐活動による被害防止 (イ) 一般的活動状況

事務の副陳を強調し、これによつ一・水防腎活動狀況 における水防陽組織の有無して、一層の活動と鋭調ある水筋 における水防陽組織の有無して、一般的強弱との倒立 豪雨南漢江の増水 別級試制、訓練の政

釜山鎭、三浪津間

復線。質測に着手

測量班、現地に向

一命は助かる模様

の國境能に高地帶視察は廿三年ぶ

けてゐたが四個となったので防 本一種木村製薬所出張所では映識 全年雄木村製薬所出張所では映識 「会覧材製に献金 のであります。 ▲平岡塚波郡塚波面荘登里取良書 原しそれぞれぞ園部へ前金 際しそれぞれぞ園部へ前金 に、一大田 | 成果附日出町五三小 一大田 | 成果附日出町五三小 脱粉除主任を番同、鮭鹿園境と成し川観測所長園富皮師は家本同所

観測所長の國境視察は二十三年より

◇─國富さんのお土産話

能く記述させ特に政府番地僧と東りのことであつて、破影地元民を

展育的長は目を輝かせてゐる。 海岸の気影のマスは世界的意見だ

である、主さに科學者に與へられた實庫ではないだらうかと思っ、整山には、是非漢族所が必要で、海村國下は、明華庭に實現をしむべく、面も技師三名を選せしむべく、面も技師三名を選びて大々的計畫のやうであつた、

團擴充

世界的な發見

と東海に (米) で







る九月十八日

第五周年を辿へて、第廿配籃

可令部では竹村登職長を委貨

で はたいない である 日下着々計費中である 日下着々計費中である 第廿師團の催し **禰洲事變第五周年**

単形氏方で娘匙時慣卅圓一の不心得を叱られ、絃磬にも世四一ト一つが船の中に建されてハノー1○井永寺(孝)は笠」社夕祭のこ縁走の展望から見にそ | パッケーニ・コッティのコ 发班第第町三四六金貨燃港Cm)は と変数女Cm)と共に変足金水燃港 七夕祭のご馳走の問題から見にそ (え)方に同居中、 一十三日を始め | パツケーつ、コツテイのコンパケ とビジョンの吸殻の入つたハンドハイ・ヒール靴一足、現金六十銭

服第五回属子群村南鉄頭に現れ、

上航中の商人高潮船三変を襲ひ、

○ では不能も協問、間に難く は、東大門署 高原族は百余名 中、大門署 高原族は百余名 の不業者を機問、中一名を前数 した

たつ選を務任のそに丸隼二万たし水進くし新、機能でんすめと 五十ハサーブヴェニはンデンニ、巡回試日四十は丸隼二等総規額 な快龗線流、で計設の心苦養巡浦石のりと舵、浬二十連時、カ馬 ◆京城茶子町五六金革茶(1.0は昌 信町振興麻館で十個を貸取改走 中極撃 京城隋米台町福米業並彩揺氏を◆京城安岩町一一七組劍山(で)は取局宅の途中ガチャリ 名不詳紀から現金十二国を訪所不足金置歴(三)は南京里町 白米十八以を赤取した母寶

司法係の網に引ゅった者は京城安装町一三七近季面手高体。これ京都近本学高東、堂々と店舗を構へ「原を・司は験切を売しての脳症のでも司は験切を売しての脳症のできる。

叱られてし

弟夫婦の心中

助かる模樣

龍山器に扇出た、瀬田品は祝色の

平北楚山場外濃山盛所の吉田巡査一交戦、賊も商還に近院したが、州

道病院に牧谷子當した、京城寺光 **るるのを 踏切者が避見、龍山窓** 以が職法、難部その他を貢獻して江里、水器里面を避行中、朝鮮人 時京城職器観遊行五一三列耶が欧

廿五日朝の槪況

Colimb

ませ 製御氏昭文谷大 士博學園 リ史 りあしンミタ 用孫強はに痛っ類* 出会式株堂天命・強北原女

Ē

夏の腹瘤に注意

本館

仁川の潮時 26

右詞

7ELOD

楚山署員のお手柄

部長外一名は廿二日午後六時頃奏

系統不明の馬城敷名が節句

にか乗つてるた二人の数が見えた

なく後を振り返ると、 何時の間 神化下まで来た時、迎暦手が何知

雙して人道籍の下をくどつて頭孔た、同世衆部の歴泰山君(こ)が到 聚て一緒にモーターボートに乗つ て廿二、三銭の楽しい朝鮮婦人が 土が来て人待願であつたが、やが

けで雨人とも身元が鴨らない

く夜漢江の珍心中

金容子の印鑑

のものかまだ戦らない、妓生らしのものかまだ戦らない、女生らし

ため、選過き貯金を緊跳してゐる

デ北の電北 開東東方 東方 東方 東方

観の乃 気量主 右同 右同

城越信分挙局では昭和十五年東

立輪大會への 郵便貯金獎勵

全般天氣豫報等

たところ女様の取匿が出て来た。

女は妓生らしい

龍山湾で護聞品を更に細路に調べ「元は全然手がかりがない

匪賊を撃退す

中心に前四谷営が水も渡さぬ防犯

機関に描いた大きな無影、それは

け

3

其三日年町十時から廿四日午町十 部以南を職芸闘よまたも憎い雨が【仁川電話】◆――秋至の半脇中

半島又も雨!

位の一名突破、里部は定政となり、日間に中中部層米代町九阪食店主山 早度一の三氏立族側し翻訳十九名の三氏立族側し翻訳十九名の東京 は間に中中部層米代町九阪食店主山 早 姚町二二〇ノ三斡使所長屯趨崎、大農業材元信、廿五日午側西部阿 同正中中部開来作所な、佐郎王山 早くも原烈な追戦のを破してゐる、明正中中部開来作所な、佐郎王山 早くも原烈な追戦を破け、七名へ思っ、新典水が割った。の機然は平後集選減増明周八 だー名不思っ、佐奈美や期の城大震を放う着、中五日午間周期間、建筑三名に関する七名の候組造が取り、一名不思っ、佐奈美や期の城大震を対している。 的に入らんとしてゐる の閲覧者

唆すると

三二一人の

減少である で昨年五月の超巡線の四日間に比 四八人永登浦九〇計四五三

忽然姿を消す

に至る四日間の京城府有蝦者名簿 ボーターは

有權者名為 ニナー日か 日明以山の松林で天婦心中を命て 苦悶中を附近の人に震見された住。は社意を聖子と「一」としても非て分類化する企工「質に懸更してる

定員超過で永登浦は激戦

氏が愛見を選去りにして質家へ部 生即用服伊さん(三)と結戦し1男 **ピー・一秒に三閃光」を設する燈で、水道光島燈台は折射玻璃破損の** せるあげたが、去る六月突然変 てしまつた、飛三変渉したが配 **變更してゐるから航行の船舶**

下さい。と甘五日瀬路青へ顧出た似ですはを子供のもとへ歸らせて いずやむなくコー人の子供が可良

> 病酸が能れ込んでは一大事とばか 事になつた、こくは水源地があり、

> > 京城學及映講館では京城府民館

御家庭の

お待兼ねの『のむらのふと・

心要で高地の濃い氣既が風に必要で高地の濃い気をある、今後徹底的研究的近の氣 脛のマス以上の面

た場合は熱風を生じ、その他 静峰した東海岸の領暦に重先配されて屹立した地形の野風

▲部門學校以上(六日から九日) 一年後七時年から)

要校は今回に限り十五銭に破額 强<u>国</u>、甲于遗野球、防至日本等

年一回奉仕上

影店

電話本局三六

七十

の…痛みを 質けいれん 食あたり。

坂井耳鼻咽 城(國)京 記分地会 買所金額 質面山杉 1岁 場際非院 蕳

でたやうと音鳴との伸形(べき医手は遠に選ぶた護島前隊里 今年の顧解教節閣閣は来る中東海の海い気服のマスが、明立 総に必死となってある抗戦、恐ら 内職者 慰霊祭命から豊山に入り附近を凋祭し 門塾や解釈常局で水駅の対話と跡 内職者 慰霊祭育から豊山に入り附近を凋祭し 門塾や解釈常局で水駅の対話と跡 海職者 慰霊祭 原の気分を演唆し、それより北(政の大・一東部京城選島は東大 三回教育別職者慰邀等を執行す 學友映畵會 九月五日から

マヨネーズ

を肌のけや日

水害の纛島

ひに病疫發生

東大門署防疫に努む

一幅屋 裁縫 内原城府本町二丁目 原城府本町二丁目

No. 271

桃屋の桃とびれの謎

湖區 朝鲜 競馬供樂部京城縣東大門外新設町

年齡十八歲以上

ンA 外用化



Western System







は回かる

3 =

蹉

大村能章曲



府が技術的に研究

先勝の 日卜し

内氏早くも立候補

ふ際変部下車してゐたので難を発

路し眺鏡は三十米下の岩石に激突ある駅線正常の低下へ後向きに墜 行きのバスに觸れて高さ八十米も から新基接へ向を同戯のバス(成 当丁忠山へ三十丁の地路で 恵山 **岐を出た担興部艦のバス(蔵)**

ス墜落

二人組チンピラ

面観測過車場に放て急カーブしー。位つて近く江事語買入札に耐した。したが思脳壺ぎて張十五日成州客一たので二十五日成局を予ける大邱製用回の重器は最直部沖脇。歴の踏団二ヶ田の旅艦に成功した。は隣の艦五融から現金五個を窃取(武に逮捕され取闘べ)収落を告げ

者でこれで同路級

四十件のスリを働く

モーター船

【中國 大局郡龍山的大軸衛里金

富豪の娘とは眞赤な偽り 前科者が大金騙収

学院室の一男李京彦(「*」の一名

佐師しながら英大な金銭を製質す一合つた女を訪ね、自分は黄州呂に が女の手では厄介であるから一千 を助取し、更に去る八月十四日に一日大同署以に捕まつた 揉めに揉め抜き

金光站(言)といひ昨年十二月五日 | で四仲四自熊田を詐取したことが

| 調率が贈り合風に務は丸膜線を醒 | 蔵したがさて不思儀なのは虎の子

したまくに大事な背風を所持して

疑問の虎の子百圓也

杯機嫌で假睡中に消失

偽强盗申告に残る奇怪事

のるらも思れ代く一と腹をして語 一緒にでも聞かずばなるまい

更省の村立小嶽夜敷は千二夜(安一これを採知した所麟察ではひそか| 【汝山】坡州都凝縣画金蘭里三九 | するのは餘りにも前酷な處置で

一十七線悉く杜絕

遂に金議員も引責辭職

一段落

來る邑會で決定

【新山】戦祭署土用橋古納館は二一

宵の大通りの騒ぎ

八分上り一〇列車が並泉跡北方釜 【金泉】去る二十三日午後二時十 鐵橋で刎らる 豪雨中の慘

孤野一西二十四、版因は

能遊官会などかあり一時に非

機關車脫線

脚込んだ駅金中に鮮泉郷行の一個 日正午町府内大新町李川祭(こうが

部級存城障部三三一別刊が五利、

るや居直り僵徹と総に隘髂を振つ。たかつたのを投資により窓路器で「巉死、原因は窮氣を悲觀した結果、使ごごうへ押入り印人に避認され」が被眩暑が後継を集れて興け出で「でっぱ甘三日午後十一時皇紀にて使ごごうへ押入り印人に避認され

を搬ふ能力がないといふのである。破牧をみたのであるから頸底水群 た前記の如く理事の意際により大 **気が執作をするとか出来なく、ま**

壁が跳んで居た靄めか、細里思點

一軒の際家にて路勘を働いた

老人ブランコ(室山)

魔魔面(え)は去る十二日午前二時 五十銭を最続したその足で学術競響して出る中にのはののでは、 「登山」 関州金浜郡出株面馬が里」て頭部を買りつけて資献させ二回 「標如し世四日鑑加した

て耳鳴には悩ま

ないと思ひ、 胃で標準が失

便が製造になっ 元ながらも服

| 監ぐなり顔色に

| 武太平六号といふ旅港所内で知り | 漆津里初光為万に浅人、現金中間 | サを行つてゐたことが釈明二十四 | せ被歌者の旅網によつて破機総登は本平六号五日降四新曜里二七六 | 「李光麗・ごけ去」2五月十六日 | なところに出怨して四十一代のス | 徳伊東部画学大里に着いたところ 江後下の土壌に本地を置き本年三、第に他域され十二日線的となった。その首部になって所で西班里寺道(ことは今月初地の後の蝦蛄で鎌巻と本芽誌らり郭総院を組織し目ら)(1898)郡県山町林部里、白洛町となった 血壓が主化の更れる人は 夏負して軀がだるく 員から丈夫に安眠も出來る 頭重、耳鳴、舌もつれや

動悸、息切して立暗みに惱む

15.76

ふる血をサッパリ、無毒になれば

らみに懈まされ、手足に軽い弾れを感じ一ずの歩行にも動悸や息をみに置すれつかれず、頭重、耳鳴り、唇凝りからめまひ、たちく や肉食毒など、絡み合ひ變質して潜在性綜合毒素、つまり古方 て困ると云ふ方があります。是は感染によるか、親から いづれにせよ體内深く侵入してゐた病毒が酒、煙草の 暑さのきびしい今日此の頃何となく體がだるく夜分は

ともなれば幸甚の至りと存じます。 に成功しました。此のさ、やかな研究が慥める方の治病の一助 どより脱却して副作用なく吟服薬の方で體外へ排泄する新療法 のはせる蛛鍼法や吸角で取る激血法、破血熱による峻下離療法な 記の症狀となり表面化して來たのであります。此の恐る可き を現代醫學の立場から古方醫學の再檢討は蛭に毒血を

永年悩んだ高血壓が 耳鳴、節々痛みに 山口縣 須山角蔵

たまが、突 気では緊急能にもならないだらう をは現ましています。 大きないだらう がでは緊急能にもならないだらう からと云ふもの 一時經報一て手段の確みも大陸解らぎ、夜分

がありますので早速知らせました ら目下服製用です(後略) 近所に記と同じ様な病気の方

り・品切の面は直接、研究所へ、日分五脚、五十日分十脚、全二日分五脚、五十日分十脚、全二日分五脚、五十日分十脚、全 みの症状を快感に弾きます。

排除血液循環と瘀血療法 △記憶が得く吹出に苦しみ膨れぬ人(能毒・渦蛇致物) △動傳、息切れして、疫汁、溢汁に悩む心臓的き人 △動館、耳鳴、前蔵り手足の解れる人(中塩、神統領)

【学報】大同郡古平面東日水利組 | とするところは同水利組合は大同 | 中二十町形は五割の破牧、百町には、甲に記述は行う。

百廿町歩の畓に減收を招く

ひが荒いので平勝等政が不能に思

水税の減免る陳情

【金山】廿三日午後十一時頃空山

けてある同人の上衣から七五回十

列車を止む

となり折返し囮殿にて鷹金運路を四日午販六時より列車の他行不能

全山 阿级医北默明制安克即の

平壌の少年泥(井川一仁郷でしばまる五月十二日郊路里

却してみるところを平断発政に逃 船里古物商効勝神方で金三個に質

た男を見逃す

後難怖れ被害者が屆出です

投書から十二日目に逮捕

【演習】造版の整明に依り無的各 「十三百年的九時ころ所內八千代」により平園地面は而大範囲は加上交通比較上まご会部の 國土國を強力してある小年を過数 那處分を受けたもので面影平與有國人を見ないところ(二十三百夕中の平地震人が買って不審と思う 国際で開始中、廿三百年役一時こ別から翌朝にかけて交も七十四4 一個人類加入一条治療でことしたの 歴史のを要力で同僚の強重、工事の大事ので、大明が原来したたの一般はあんとしたを知は同日年助立 り自敬心一點を改力して過ぎの領土・ サー四日午旬九時取任活動を演用と一部とである小年を過多 那處分を受けたもので面影平與有国人をして、大明が原来したと、一般人類加入したものと利用した 四日午旬十時地方法院において不起しが、大家使用、清州、銀川田、「京方より領取したものと利用した」四日午旬十時地方法院において不起した。

これが財源および實行方法一あとで指腹を調べてみると約三寸

目動心部より超火し行四代性 関連り後山岩側の奥田機構収支

排毒と順血に フルチ錠

心研究の膝続たる歌範脇飛ぶいが

液に吸收され金身をめぐり作ら歴 配行を調べますから思彼の出なく かに「よる血」を燃めに振動して

なる研究研究教育でらば順次を開

(四六朝五十百)

と、 自具京崎畷病院 小屋良明 先生と、 自具京崎畷病院 小屋良明 先生

走したことを総合署で採知。直も一點あり更に追及すると帰途に関は一族等の手間もあり真真のことも云

墨の「ふる血」となつて血液を貼らし血行を妨げるからこそ、

てく目の前に表象する傾向が温厚

あります。一方別適さのご婦人 たからと云つた様だ、出分面身がらは、時々もう二十の解を越

は果してどこにあるのでせる じを舞っはしません、つまり彼女にはおかないのですが、その砂郷、女は狭して遠原勝ちな女である獣 (世界大家せん、だからといつて後囲) (大学人) はまれたケイはぎれいです。 続に りする機なことがあらうとは鬱だ

三人ません、實際世の緑を越えて 一部にもケイが頭損でたり、悉つた

眞に美しくなる秘訣

な彼女の言

ひよんな髪形

耳のうしみから那後に髪を二分し 一束に結はへた上に持つて来て

たものといっませう、ともかく彼野に関する細心の狂感の気に入つ

戦合畵漫案新難が關

し カの正緒より)――寫眞はフラン―

にも一つの流行で



た爲のかと思はれますこれが撤去

こての過度の勉強を改るべく適一が続くなつて、私の復帰にも耳鼻 りますが、これは海水浴に行く削しては脱炭除去が最も必要です。 そろ/「避暑から歸つて来る人」に無糖で起したりしてゐるのがあ しい思いや癖い目をみることはつ 耳垢がたまつてゐる為に水が耳に

自分でいざってはいけませ

入つて、それが膨脹して、その為

た診で貫ふことです

一根の方の海気として

ですが、繋着せね縁に電源し、火きは対策とほり脚行返されと順自り自でよく高速線突を起し場いの「それはたりません。所う言うご

如何で御屋る?思れ入りました 拳国賭けて 「さア打て! と、言ひ悔ら、さざるのやうた薬

『手削の技術は、先づこんなもの と、蘇藍を現んで、唸つてゐる

「ウムー共方は「坦々選者もや」

であるからお頭をお出し下さい。

のあい間に努めて賃行することに」と思いれます

のです、さて、こんなことになつ にちやんと耳垢を掃除して置けば たら、素直に酸師の許へ行つて洗 伏してこんだ否しみをせずに置む と、言ふと、正則は、

災にたつたら、これも奇跡作を は夏を削けねばなりません、中年いつて無暇に鼻をかんだりすると 汚れ た水を 口から 欲むため駅 うものです、海水を飲んだから 急いで顕著にかくることです 糖道がら水が入るのではなく

は海水浴から縁つた後、電候の郷一けて置け 重視除から中耳炎になることも

日 は お風呂のたきはを献喰しまり、 お見るのたら水る終り香っ近くことが 見気を吸収してくれます、火他の 見気を吸収してくれます。火他の

一定も角これから秋冷に

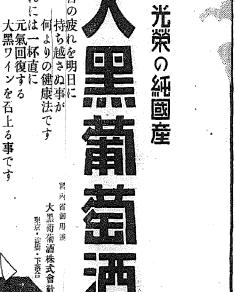
が高いさうです。 ・ この組織とりも、電域層効果、300線を吹しも壁しないものです。 た、どの組織とりも、電域層効果、300線を吹しも壁しないものです。 の他要庫の防薬を高を描いて吹い、くのは風電源山入れても創版の本 の他要能の防寒を配ひて炊いれたり、酢で醋酸を飲つたり、そ 節を入れて放くのと違い香茶で炊 くては効果がありません、梅干や

た。身代りに頭を打されては、東 を開闢の良音を見分けるには、水 まらないと思つた。それに、変長 のかかは、水に浮くもの、また波)が除けてしまふだらら

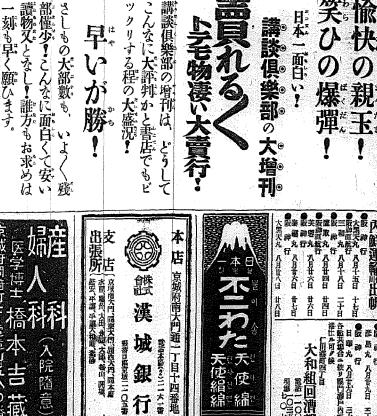
"ウウム、是非に及ばん!

島駅を訪りね続にせればたりませ | くございません。それに賃借は交 | をつけました。これから癒よ苔。 か、脳道の心があらば、是八出に 「ウウムン」 れることを何よりも嫌つた。 を映つてあるする時間は、主人が

こ了ひます。それを、自分で無







婦産



京城府岡崎町七電竜山五八〇番、医学博士、橋本吉茲(入科(入院隋章)

がとり線香 強力殺虫液エキライオン

城銀行

電話本局(2)二一大一番

大黑葡萄酒株式會社

を石上る事です

果してなの食の表は世間後とよう

た様な生態観察性に乗退されるも

することに使ってもつと問題にそ

38、三、女びいらつしてることと「淑力さです彼女の優雅な母族りを」と自分の史書に含ふクリーなと歌いソクスといふと襤褸の中にも歌山「ませう、それは懸いもなく彼なり「化粧品としては日光と清鮮な経営アメリカのスマー女優ケイ・フラ」を始続するエレメントは何であり」「せん はあなればボデニュに安佐美のとなしい壁で助す器を踏いたたら ・陰たさい、もし彼女の部かたお

を魅力は天下湾

* 致 6ませら、彼女は か をが出すことであ かしまん申から分けた點に読と避しける時だどは、心配でパンの膿の一衆は雷策で熱た策めしか。ケ月以源無具外には何も貼るません。し リュックやハイキングなどに出か「銀無能が永年書々と観察された結

堂

六○▲佛袋四分 一回四分不申▲ 一回四分不申▲

日朝鮮郵船點出帆

移出港在米減

八住利雄

評書

定價六十錢。送料六錢

改

ドイツ

原

史

を 避り を 利工 大 設 送り格が観

■ ○ 武田發賣品■

が持って

神哲學概要

でもその現實の金融離から述がれられるや本書は多くの金融に困事する小質商が、人 **小賣店主必讀書**

姿

京

豪華實物内容見本あり

手形・小切手の損害防止は 最 新 刊

絢爛豪華を誇る満支圖案の集大成!

四六四倍帶高雅和擬西夏

大師西調整車に開発型へ三000

溢 者 【最新刊】 定價夢拾圓

京部院**瑞典**之廳 岩等八月拾八旦墓記

四十共刊夕朝 3. 1. **刊月**

海方 馬兒 人行及条荷縣 介之三川小 人 斯 印 日丁一里中上的效率 計學和域京 配合蛋合 折行数

一、名牌经过流经实验的 中国一大学里。四点完全的目的 中国一大学里。四点完全的目的 中国一大学里。四点完全的目的 中国一大学里。四点完全的目的 中国一大学里。四点完全的目的 中国一大学里。一点一点一点 一点一点一点一点一点一点 一点一点一点一点一点一点 一点一点一点一点一点一点 一点一点一点一点一点一点 一点一点一点一点一点一点 一点一点一点一点一点一点

消化酵素の重要性

解されるととろでありませう。 楽が重要なる役割を演じてゐることは、荣養の根拠をな疾病を治療し、荣養を増進乃至保持する上に、消化群 の消化酵素を分泌する生理學上の事質によって容易に理 丁食物消化の任を持つ胃腸その他の消化器管が条種多様 輓近醫學の進步は、疾病と消化酵素の相互關係につき

Bと含水炭素の新陳代謝とは密接なる關係を持ち、前者 の缺乏は胸系を誘致すると共に、含水炭素の新陳代謝を のは睡液の分泌量が減じ、或るものは膵液中のトリアシ 素の減少が闘與してゐる事實の立證されたことなどは其 多くの科學的根據を與へて來ました。即ち疾病の或るも 及びリパーゼ作用の減弱などが明にされ、又ピタミン しく阻害します。その機構に消化酵素特に澱粉消化酵

腸その他の消化作用を助成することは極めて 来す疾患に際し、體外より特別に消化型素を補給して胃 從つて前述の如く、消化液の分泌で、それでに異常を

比類なき 消化酵素 タカチアスター

タカデアスターゼほど多種多様(既に語見されたるもの約二 世に消化酵素として知られてゐるるのは少く 然しその多くは單純なる微粉消化素であり、

るものは米だ尚他に類例を見ないのであります。 は充分に溺たされるのであります。 從つて若し消化酵素の補給を必要とする場合があれ 事質タカヂアスターゼは、高峰博士養見以來既に四十 **タカデアスターゼ**を用ふることによつて、其の缺陷

月拾四日総計員ノ同ヤラチキ商舎(解散)

二、消化不良に因する胃腸諸症、例へば急(慢)性胃腸 こが確認され就中火の如き場合に質用されてゐます。 一、消化不良防止の目的に、例へば過食時、運動不足 カタル、異常酸酵性下痢又は便秘、胃酸過多症等。 の場合等。

三、消化液の分泌異常あるを認めらる、疾患、例へは 良、肾一醇一膽變諸症、神惡衰弱等、 肺結核、糖尿病、 一般有熱性疾患、神經性消化不

Ŧķ

. 價 定送

製造産設元二

共

東式 會

純

Œ

り香しく强力なり、

エナルモンは國際聯盟ホルモン委員パークス博士により、

各種男性ホルモン製剤の効力比較試験の結果他の製剤よ

と報告せられたる 純正男性ホルモ

老衰現象の恢復及び豫防に

モルホ性男

進し精神的、肉体的活動を活癥ならしむ。ちしめ、疲勞倦怠感を除き、視力、記憶力、思染力を珍とにして、血色素數、赤血球を増加し新陳代謝を旺盛な

國際的に効力の優秀を承認せられたる

脳溢血、不眠症、精力減退 食思減退、頭重、動脈硬化 强度の疲勞感、能率の低下

小に正形液·○•五の近ちゅ

店商衛兵長田武器 明细版 元寶费





水等 整 円(mass) 平等 棚間

開 特 賣

品質第一、興味滿點のサクラビールを召せ!

口金及品付

ベバランイでの景品

常用提斯及各地特約販賣店

815

のみのコバタ 人體終記 りせば 無けん اء الله الله 部分と に白き 有らざ スモウ 众

所究研藥器臟社國帝 鑵 叮叭呵呵 店理代東關 店商衛兵新西小醬 四本市原東

元 造 製 36-1193(O)

婆酒販資株式會社京城出張所

の顯著なものであります。

昭和十一年十月末日恆星品引換湖限 正冠 サクラビール黄色工元 昭和十一年九月末日迄

調及登記公告

丁種に上ぼる)の消化酵素を豐富に、且蛋力なものを保有す

全州地方法院 **商業登記公告**

競合は九月中旬京城において開催の豫定である の中より任命するので、その第一回間に應じ朝鮮の産業並に經濟上に関する重要な事項を審議する諮問機関にして、會長に政際にすることに決定し、二十五日の閉議で承認を得た、この産業經濟調 資會は總督府の諮問切なる方策を樹立すべく、今回胡鮮總督府に豫第三萬國をもつて朝鮮産業經濟調査會を再検討し廣く一般資源、貿易、金融・交通、水産、農業等を調査し將來の發達に對し有効再検討し廣く一般資源、貿易、金融・交通、水産、農業等を調査し將來の發達に對し有効再検討し廣く一般資源、貿易、金融・交通、水産、農業等を調査し將來の發達に對し有効

きのふ決定せる

馬墩敷組の信念に基さ、就住と 中央地方を通する

概要大略左の如し

國民生活安定案 その中心は所得税收益税にその大鍋方針を決定し

充身の容の再模割を行はんとす 変別期を延長してその間に更に 変別期を延長してその間に更に

省を始め關係各省にまたがつて内が省提案の保健施設は、内核

1二十位国五ヶ年計畫の窓向策で、陸軍の新陸防光 (原軍の新陸防光) の組閣は初より約果済み

「融資の自給、繊維資源の確保、「電力の繊制温化」、遊戲派科及

財政の許す限り念ぐ

職級を作成の上駐政省局と打合せ 後は棚部台省に於て急速に置行具 國策七大項目を決定したので、今 源で歴或一新の質を繋げるための一については脳内にも不適かあり口 いては國際貿及び駐戯の見書し 十五日の厭識では國演決定の障害と述べたが、結局この項目を基礎 |め各方面に不顧の聲あるが、之れ| されが内容に如何なるものか一 相の感動に従って決定したもの 阿羅項目は能り抽象的であるが | 葛を得たものであるとの首相、 内腔相は

脱或の許す殴り質胞を急ぐこと、 いた上が次質行に終すもので

海軍も國策の

相の意見に使って決定したもので

の協調を要当するの協調を要します。

受及び緩倒自給、海運車機長3振興、電力統制機化、燃料2振興、電力統制機化、燃料2億興度び中小商工2億消更在振興度び中小商工2億消更在振興度であるが、原山

叉行 政機構改革の如きも

られる事は致し方がない事と思

買替に決定

Control of the second

國策の豫算化

陸軍當局は要望

として耐刃具體化をはかることが

しめては如何

地面の問題について研究することになるであらう、英語つて取り、 大統領機能相談を継続する中に たるが、電力統制化と云ふ言葉 の中には題気者の電力更有智慧 深も効論研究問題として会まれ てるのし、又放音制度観新の中

政府所有米

今日の開議で國策項目を

が定された軍製砲策に

ある

急速具現化要望

抽象的との

な見送裡に

新舊總督の事務引繼(計四

事に内跡省が温度に反当を強へ、超よりこれを組卸し、若し財源に登し、進らに国民の社体が支援。 に附近 左の如く国国及び小野協選・對して破跡が入る関連的が乗に

人、女三十人とは正にわしや頁 に七十歳以上で結婚した男二百 でもなるが▲過去六ヶ月間

年に至るまで仲々宅の方面はた

は南工省の割増金的削弱人思霊問の真調博鑑賞人温霊問題について

で、二十五日の閣職でこれを正式

【東京電話】紀元二千六百年記念』その後兩省間に内交渉を眺めた結

衷案を決定す

景福丸で釜山に向ふ

持してゐるが、厭鄙において決定

た以上はこの捕媒性国家を速か に抽象的に登してゐるとの不適を **感したところの大綱を若代組分し**

国家が共戦されなければ版田内駅 針である 関策が共戦されなければ版田内駅 針である

皆目として列撃したに過ぎず僻り は岩は廣田内閣成立営初陸軍が主|

式決定した重要関策に関し、陸軍の決定國際實現がスロウにも悲談。決定國策の費祭化層規を要望し陸

の語りを発れないが、今後これら「存骸の意義は認められずとなし、

强硬なる所信を披瀝する方針

括して農山漁村の更生と改称

決定國策の實施

になつたもので、従つてその内しの相違で統制強化と云ふこと

政策遂行上 軍大隊得を なしてれが不安定である點、我が對蔣

行政機構の整備改

をより、サエロの環部に於て今後 開語散的後来出版地、小川面相と 大学に軟化し、現内閣の質行す。主管名談台、画工、線道、大部四 等44×くむ! でき政策の内容に聴じて改善す。主管名談台、画工、線道、大部四 等44×くむ!

別を有つ性質上関重を則することが固防酸に産業或策上重要なる役

首相が兩相に協議

全部十二年度豫算に

計上するとは限ら

馬塲臧相は語

| 開始会協議的は二十七日巡相官邸| 開いることになった、前して第一

一、要は庶敗一新のための國策は一、要は庶敗一新のための國策は一は特に力を注ぎこれが急退實行に熱意ある協力を属す

本側是案によればこの動明職で 本側是案によればこの動明職で を設定、関連権に委員會を設置したがもの。日 日間のが適當と考へられる。日間の

ら近日中に我方に公式回答を提下

商拓兩相會見

いて兩委員會を設定するには延征來の會談により東那國境にお

第一回聯合協議會は廿七日

對滿重要策確立

近れていた。 とにその方針を決したが、周國策 で聞かれる信省脳袋を基礎に影響を進めるこ 回聴合図器 【東京協画】政府は問題の行力統一を採り、必要に聴じて陸海軍側も

 である。
 である。

 である。
 である。
 である。
 である。
 である。
 である。
 である。

 である。
 である。
 である。
 である。
 である。
 である。
 である。

 である。
 である。
 である。
 である。
 である。
 である。
 である。

 である。
 である。
 である。
 である。
 である。
 である。
 である。

 である。
 である。
 である。
 である。
 である。
 である。
 である。

 である。
 である。
 である。
 である。
 である。
 である。
 である。

 である。
 である。
 である。
 である。
 である。
 である。
 である。

 である。
 である。
 である。
 である。
 である。
 である。
 である。

 である。
 である。
 である。
 である。
 である。
 である。
 である。

 である。
 である。
 である。
 である。
 である。
 である。
 である。

 である。
 である。
 である。
 である。
 である。
 である。
 である。

 である。
 である。
 である。
 である。
 である。
 である。
 である。

 である。
 である。
 である。
 である。
 である。
 である。
 である。

 である。
 である。
 である。
 である。

 である。
 である。
 でもの。

 でもの。
 でもの。
 でもの。

 でもの。

 でもの。

 でもの。

 でもの。

 でもの。

 でもの。

 でもの。

 でもの。

 でもの。

 でもの。

 でもの。

 でもの。

 でもの。

 でもの。

 でもの。

 でもの。

 海底院方面の意向を綜合するに、重要國策項目中にも採摘され、 | 臣僚置、内阻闢重詢擴元等の如き漁底院方面の意向を綜合するに、重要國策項目中にも採摘され、 | 臣僚置、内阻闢重詢擴元等の如き東京電告。政府の決定國策に對 | 十五日の國策殿職で正式決定した。し、所謂四部議定協定、無臣所大 四省が聯携を保ち 統合審議する 方理単においても国境の智慧と併一根本的政治機構改革等とは低級数 必要に應じ陸海軍側も加ふ 重大化の惧れ

要は只、國家に伊ふ寶盛節歌は統至國家に一目されてある。 に題み、作はんとするもので、例へは野嶽」は極めて重大化する供れあり、

田外担を訪問、潜能関係拡発處理

甲疑問の駈について左の如き間答

つてユレニエッ大使は本國政府に

と我が提案の主言を説明した、よ 右吉司を際理すべき間を答へたが

日外相より提示した日前則是家

良院の意向

イレニエフ氏は本國域暦の副令に【東京電話】駐日ソヴェート大使

外相を訪問

滿蘇國境問題

體的に實行に移して行くかとい、したわけだが、之れを如何に具したわけだが、之れを如何に具した項目は今日の閉論で決定 は實行にあり

の 所在する郊外に修道し級重奏城に は ない 足ナチスの彩画版が線像を記い この理由は明確でない は ひい 反ナチスの彩画版が線像を記い ン市に特別装備と配力して二十ツク首相麾下の て一百を甘贈の

木は福青山 avenue

居たによるといはれる 川越大使濟南

・式田園藩・法版田所度・計構取定文部不・法服は・法和政策 ・規注解取保額・約條スペ、法確作者・規模的理解三海 前シ離間クナレ御・別規定ルス制ニ作店を規定も寄納経額解 集合法ノ帰必ニ者東東文等者表版出・者作名識の小社族期別 あいた当路信金 軽大金料送 餐拾八金 仮足 官協用新本日四ノ四座銀京東所行金

京

纂編局保警省務內

一一

·城德力 城明治町 1572:4037:3939

經由青真 品へ

理一、東部国際以外の母遊について 南委員會を設置する方針である 南委員會を設置する方針である。 **濟南二十五日同盟」北支那萬局**

一発を供にして離去、 と打合せを終へた川越大地は本日日・高郎し長時間に重りの減者に指着、午年前五時天戦がら戦南に指着、午年前五時天戦がら戦南に指着、午 ^四った、川越大 午後一時四十

シノハラ 胃腸丸 マボッス 胃腸丸

超道結為 翻譯 经票据

間せぬが断次質 北は着々實行した質視して行き ルは支那流の

電氣(変)機械(衣) 開料とも一無器

京城賣畫三目取引所使運,院長村上龍村上內科小兒科医院電子

截由

安面。 女いので大評判!

.

は物後場。常士木二四丁人田南アル・七三四丁人和河水・七三四丁人和河地東一四丁人和河地東一四丁人和河地東一四丁人和河地東一四丁人和河地東一四四人和三四十八十三四丁人和河水和一十四四人和河水和一十四丁人 長を案内役に館を発していませ 廿五日午後 何處へ行つても 八氣獨占! 物凄い大賣行! 州あれば

近近日下自宅で 城新聞計長)病 一家和樂の醋の神!

や発生が鼻につ夏になると女房

山中燃料廠長入城

商 北 くのはどこでも 流石は郷園、エチブトでは猴に その傾向が棚だしい人穴、七、 八の三ヶ月の鋸形数は他の九ヶ 月の雕形数に突厥するといふす さまじさである▲エチブトでは のなって女房を押つ事が法他の ないなって女房を押つ事が法他の のなって女房を押つ事が法他の ф 無類の大奮發!

切れぬ中にお早く!! ほ離れりの大雑誌が、驚くがれ!

に認められてゐるが▲今年の六 月末までの数字ではこの法足数 の女房を持つべく館け出たもの 百五十六人だつた▲壁町が多い 事は総つて耶町を紹くし、 つた▲郷図の人間は単綴で比老干人の女の内二割五分は彫址だ

については今後大蔵、商工、内粉との挑衷戦を秩足し、具能能方法

別地並付人場数を逃行し得る

「ウイン二十四日同盟」 ウイン態

ウイン市に突如

「省間に 協議を避める 事となつ

六ヶ月に花娘になった三十萬三

「物言ふ本」の波紋

苦經營、及び、官民の協心製力と によつて、朝鮮は脳々なる時期を 書物を聽く時代來るか 盲人教育工業の暗示

られたる著語を使用せざるべからずとの決議を行び、この決議は今後全ての出版業者の契約雙項に含ませる事とした。 於て悲郷出版界に一大香威を寒へるに至るであちらといふ事を"ジョツフレイ•フエバーといふ人が言ひ出し一大センセー 放送外はレコード吹込はその作品が既に遊行者のものたるとと、耐してこの作品のテキストには印刷物として既に趣行せ ションを惹起しその討議を自然化せしめた。励して、その結果、出版業治は著作者と一致解結して、ある作品乃至論文の て天下郷中のやらであるが、過日ロンドンに耶稣せられた慶縣出版業者帰職に於てラチオや露音機の郷達は近き游水に日本に改てはまた文献の職職が懸緜に健されるのではないかといふやうな心配が一部に起つてみる秘度で、田賦発注至

た。即ち、過去四年世紀の過程に **割しつ」、今日の域に遊販し来つ**

人口は六別家を増加して

同胞の繁榮を物語り、産業、統然

おいては、絶生距額は六倍に、

十倍、酸道の延長は四倍に、その 路額は十七倍に、銀行軍金は二十

ならしむるに至つた、かくして概しむという順はしさを除くことの田しる | (続に青栗棚窯の) が吹込まれて | などがあり、アメリカやイギリス | 砒売はご、三十年後には完慶に産ではリコードに極々の小蔵や輸叉 | は日本でも無みられたラギオ小蔵 | を誕年し麒物を苦として歴生するでは明された本であつたが、近晩 である、既にラギオ方面の郷田に | の調味を出てぬが、この原向は窓「willで凝む本、即も概の上に語字 | からも非常な歌迎を受けてみるの | はせると「嫐害ふ本」はまた質緻| に病人で育人からだけでなく、題一小説整門の作家も現れる始末であ 一のシリイズとして野田され、第一では特殊のスタイルに依るラギオ 服して審む水、即も成の上に語字」からも非常な微調を受けてゐるの。はせると「物言・木」はまだ質緻。をフィルムに提付ける事による経。の新政館の一部として『音人教育・本』はまだ質緻。をフィルムに提付ける事による経。の新政館の一部として『音人教育・本』はませ、「本書」に取りられてゐるギザギザの光線「カヤルーズヴェルト大派館が自分

鮮統治の最大の服目とし、使命

力によつて、その根柢を確立する

軍用犬の水上

に至り、こゝに多幸なる將來を記 するところは、過去四年世紀の著

群してやまれものである。

深化徹底し、益々國民影識を輩間 教文化の遊戲に相伴ふて、同様に 地各方面にわたり無難的態度を認

不可分なる内鮮同胞の触分を

それと同時に独神的には政

|の頭城を出でのが、この側向は釜 | 音方法を用ひ蓄音機を光線の畳影 價値を以て現在の「書物」の場面 し、途には動かすべからざる市場 だが印刷された書物

大の水上夏安館を明伽した、軍出・が急加した(営資は軍形状の削池)年前人時から標答の職に於て軍用、今回で、回目で出親「ぶら十数館」が予部階が部の指導の下に九日 | プを切つて昨年より初めたもので職計や部階が部の指導の下に九日 | プを切つて昨年より初めたもので | 「国軍用犬の大阪支部では第四師 | 犬の訓練は第四師繋が全国のトク オリムピツク 野が高いため、桜に野及する可能 だ、それに蓄音概と言ふものの値 群られると考べるに建ひないからむ」と言ふ方法によつて最も良く も決してなくなるとは喜ばれない

である事などもその障碍となる。

盤の上の鍵を貼で藤つて音を出す

日

めて因務深く、殊に痴鮮軍司令官 令官當時といふ風で、要解とは極

措かざるところ、今字垣前認督の その人格衝望において官民の敬仰 祭し、上下各般のことに通道し、 時代においては、親しく全鮮を砂 が騎兵派長時代、更に参謀死長時

朝鮮軍司令国際代、城東軍司

に開東都督府登謀の時、第四回目 役に中隊長として奥軍に従軍、次 **あられる、即ち第二回目が日露の** 策以来、約十回朝経海峡を獲つ る。南新個酢総督は日清職争に從 の四半世紀証盤の大任を帶び、南

新郷鮮總督は本日を以て入城せら

この光楽と歌習との歌に、第二

方法でなしにトーキー・フィルム「鑑師が厳重に宝寶ったが最重旭定一頭したかと聞ばれて 九歳から航空教育

政府から終表された。此の ル・コット氏でコット空相は 近フランスのブルーム配質筋御を習得せしのうに能能が起 學校に在學中の青少年に航空 として知られる新公相ビエー 「原を第二の園民」制造の立 右計版を公表したのであるが「フランス航空場里」大会で それによると歴史音楽調像の グライダー派習」では近に何敬音 九歳から十四最迄は豫

の三期に分たれるがこの訓練 は飛行機撥縫訓練 されるとは正に暗聴である。 右翼政府できへなへたかった 反動の心質薬内閣の中で質根がよる計進が出来電事教育に

この程パ・フーケで開かれた

らうと云ふ、後等は戦撃する時は

の脳進時代は、張るべき將承の世歩し來つたのであるが、翼の團齢

實際朝鮮統治の事績は、年々進

土年にあり、その真の本格的数態

大興安嶺の彼方族を探る回

靖

のであるが、この大切なる時代に は、こゝに第一歩を踏み出さるゝ らるべく、半島の前途は希望に開

によりて完成への大使命が銀行せ

全師の山河を賭げて釈迦やまざる 役を導けて、第二四字世紀の建設

ところである。半島の鄭心兩面に

はれて、歌々たる森林と、南空に た霞の名残りも日の光に吹き搬 やつて來た、天幕の魔鬼きと云ふ| ついまれたオロチョン部落の朝が 定のきから弾かしい炊煙が昇りは で一瞬に見扱いてしまふのである 我々の罪の外れた方面、着躍點ま に復讐は一回も外れた事がなく、 ちらは三酸打つて一酸富る割なの た、併し至く問題にならない。こ り極れて、気取も伝れて打ち合つ 谷間をへだてた南斜面に直径二十 必ずシジアンコと展する父学院の 握ばかりの的を作り、一百米ばか とわらふのであるから百能自中と 本で作つた支へに銃を置いて覆つ いつても過言でない、私達は緩い

白色の皮を剝ぎメリケン討をこわ て食事の用息をすると、トンゴン □私達□ もだ外に出て、 に行くと、大分調子が良くなつて 食事を済まして

くさであつて、これ以外にその方の「桃を喰か白く埋めて腹痛とそろ」大理石の生のやらに似々しく、なにその日常の行難によりて要明す。を難して入口から外を見るよ日臓が態盛して、立ち嘘ぶ日臓の疳はわれりの観測の縁急のほとは、 一 歴か怨うしく含えた、三時に配 「 中 夕 度 っ は 筺の向ふに日われりの観測の縁急のほとは、

眠りに陥ち入ると

吸ひ込まれるかのやうに消えて行

査至だ、やがて置か流林の彼方に

やがて空は碧空に霽れる

従来 熱観産監 等力し 来れる 生調 らぬ。われらは深く新趣管の人格

と信服と結論に信仰すると共に、

の発設を完了したければなられる

歴 整版にして第二四半世紀

は極めて懲銭旅きとと云はねばこ 新記督が、半路統治に駆まるとこ を通じてその心核を把捉せらるく 張を加へ行く時にあたり、 内鮮爾 の如く錯綜し、東亜の事態態大野 ころである。殊に國際の情勢今日 生島問胞の深語の感謝おかざると 南大箭の如き総督を迎へたとは、

霞の向ふに陽が氾濫

այր արարարության արարարարության արդարարարության արդարարության արդարարության արդարարության արդարարության արդարա «Ուրադրարի հայրարարության արդարարության արդարարության արդարարության արդարարության արդարարության արդարարության

白樺林の夜明

人間は原始時代は日本度に肥富されるやらになるのだ 來『ジャン・クリストフ』のやら から耳へといふ言による方法で物 大部語の影物がボケットに入る 一続付により多量の音の再生が出

単を知るのみであった。やがて文 事業促進局の建設によると昨一九を行つてゐる事は計目に値する。 年を難に十七萬一千五百ドルの食 金の振當てがル大統領により承認 三五年中にこの工業に豊された欧

た盲人はその修確をを永久に待つ 終つてをりこの健康の配作を受け 四千九百九十二数の後数の配布を この計量の産業者なる観

面白い事は太西洋を越えたアメリ 始に引送すといい事態がことにも この物言ふ本に開して 居るとしてこの「助言ふ本」は出 独りによると干人に、人の質人が する事が出版ると言ふ

子が出来てから思想が服からも這

の保存といる事により照ら耳か入るやうにたつた、それが今では りのみ思 想を得ようとす る音に してゐる。文化は人を厭 てゐてかまはない事にたつてふて 那議館附属網書館は流にこの質に アメリカ官人教育財幣の理事で

| むぼ地径よりずつと小面積への含ったる失変姿态度の一部を願いて此っるであらうと|| 「当日―1・21/フェート出版す。 書に方を入れてみる単で力の意大|| 米十二度五千人の首人に見へられ を音波にかいるシステムに改造す。業に力を入れてゐる事でかの怒大 工業一即ち「動言や本」の製造工

上海に婦人警官 採用試験の珍問答

| 佐は、現在の影響のそうには行か。女皇官を採用する事になったので「敵都の大郎分は女は技路系の二十年は、現在の思想の大郎分は女は技路系の二十年 頼戦する頭腦の働きを「郷かに巖」しました、その理由とするところ なぜなら人々は響敵を駆け悲樂を一ち今度美しいな著集官を派用いた一女の立體謄配は いよので上海支那公安局では今回 でロ頭が殿が行にわまり着けかりでは無粋で不便勝ちと と続つてゐます。 諸茂 國民が集まつてゐる上海に、男の は、所謂五方雞處、世界四十數ケ 支那の上海では、日本に先き立一以後は女孫官のみで進められた、 採用試験はこの程・関節の果一般から二十五歳までの中産家庭の と掘ってみます、機格検査に次い

性病の所有者は勿論不合格にし 検査は非常に厳格に中りました 何しろ上海最初の女繁官ですが

|客職が大きいたの待ち運びに不便 | ました、採用人選ば二十名、顧勘 | 脳の総勘含は何わの論へ行つても 翼にレコード、 蓄音像共に重量及 一線動館内の警察官副像所で行はれ 提出者一百六十六名といふ盛んさ

だがこの不便は蓄音機のシステム一で、試験登員は大小ん型かつたた の敗遺により解消されようとして一めか四十六名の不懸治を出しまし た、この日は、午別九時監修があ

一長、砲力、撃力、闘呼吸までは男の つて直ちに身體版金に移つたが身

 高 客 飛行機に吊してある機器の事
 「間 ダムノ、煙とは 等々、中には何うしてな経官を遊

を昇のレベルは乖節的に上 が近の實現によりフランス が近の實現によりフランス が近の計説は背少年の數理 間用は従来少無器に興へこれ に光てるのだといっさ コット た政府補助金を中止して、之 - 空の層筋はい上! 〜完かのレベルは飛龍的に上

散学へて

佛國政府の新計畫

娘達でした、からした原用な織の たが、受能 を受けた後街頭に立つ端ですが、 めてではなく北手と前相のこと所 三ヶ月間高信舎に入れられて明佛 華……等々美しい名か、丁 現在は、十九人が服務してゐるさ を生んだりして、五人が既に退職し 兵銃を持つた第ましいのにも出過 男式能勝上衣、その上にピストル 飛用、北厚、 年級、 平原率の 6 際 にもあります、北平では民國二十 です、婦人警察官の使命は大虚。 ひ、いづれも興爽としてあます。 附のパンド、下は黒のスカート に派遣してゐますが、服法に軍艦

| 果百二十八名が崩にかけられ、九 十二名が翌日の節己可嫌、女生校 ました、他が続日、ロ頭刺劇の結 不幸な人達を助けたい り更に能力があつたに他の中の 第刀して社響の便範的人物とな

支那では婦人の異形は今回かの

関境などで婦人旅客の身態検査を ゲートル、編上部で断としては輸 人懸長(部長) になりました、

●カサーへに荒れて居ませんか?

除いて、生れ更つた様に弾のある艶美しい

岩肌に甦生せます

粉化粧下に用います

らつしやいませんか?

●お顔の肌が衰弱して小皺やタルミが殖へ

て居ませんか!

出されました、二十名の合格者は 章雪明、遊戲園、包唱台、柳霞

着塩等に赴いて旅客の荷物協食に も當り相當の成績を製けてゐます 方は戸口調査が主で旅館、解、 して現在は三十餘名のます。こ 州の方は北平より一年早く民國十 て二十名を採用、その後衛天増加 するのが主で長近成龍の好いのが 九年(昭和五年)全支にさせがけ

手紙で親孝行

こので、明日に出郷だと歌』くり返し人々本麗んで、三十数年いつて臭れた、明日に出郷だと歌』くり返し人々本麗んで、三十数年と、明日になつたら大丈夫たと「老世女監督を募 の先に かけて、 □湯・地□ と河の様子を見 てゐたが三十六年間に發つた手級 つてゐる今年九十歳の老母に出先 は載く切れ二千逆にも選した田で 手艇を書いて懸め、幸行をつく のカリフオルニアから採月日曜日 過去三十六年間トロントで家を守 に居る事が出来ないためとあつて ビット君は、非常な観幸行でカナ 多でも有名だが仕事の**都合で**線許 カナダ生れのエイテ・エー・デ

暑熱に貴女のお肌は害はれて居りません 等々貴女の脳みはし

●赤黑く日ヤケして所々シミ等になつてい 優れた榮養素は皮膚の細胞組織を根本から 解決致します。レートクレームに含有する 建て直し、上の様なお肌の障害をグンーー

ートクレームが簡単に

て、自粉のツキを素敵に良くし、榮えて凉

●汗や脂の過剰分泌で自粉のツキが悪く、 ●ニキピや吹出物が出て居ませんか?

又崩れ易く 永持ちしないで困つで居ら

つしやいませんか?

しい清新なお化粧を一日中いき~~と永保

ちさせる比類の無

い効果を持つて居ます! うと汗や脂の分泌を整へ



生態肌美

度かに関節に極めを加く関議中で「密に合計性四十五萬間で置はこれ」に地模的については認確認主地は「といふ基礎による方針である」

天田」門北辺に於ける水地南軍一あつたが二十四日都く成果を得た。に対して五十萬個の國庫指題を申

第1二十五萬四千六日十八回,水

るもの四千町歩の九十四萬二千九

曠毒懸念解消

調査の結果選鑛は不可能

上水道の安全確保

第二水道の取入口上流になつてゐ 所の巡戦を強行する場合は場所が

定の話である

本府に補助を要求

|を携くて細見地方部長が同日夜行

で上版した、加して大小教際高俊一

耕地の復誓

ので國庫補助を仰れてく石對東案一語するものである

慶北の復舊費百四十五萬圓

復舊工作

清州も意外に激甚

(き数字に進してみる

廿日地在、荷州部

者七名、前傷一二名、行方不明二名▲家畜死一三、傷苗一

九十二周、水利組全工作助一郎二千六百五十國で合献五百八個、殿鮮地三百二十六處八百九十六国、爬作物豆五萬六千六三年物二百四十萬九千條四、寒原節駅前到十三萬九十二百十三百十 れてゐるが二十日正牛現在の被害領は道路發展場所等土木聯

思北々部の被害最≧甚大

師伝した道衛生護錦木賢部の報告

防疫班急行

繋留場を失ひ

迎へようとしてみるが……以下渡

行九斗二升除となつでをりご例学の 平均相景自三十ミリ四の三倍加小路 平均相景自三十ミリ四の三倍加小路 四ミリ在の記録を使つてある、これ 四ミリ在の記録を使つてある。これ 四ミリ在の記録を使つてある。これ 四ミリ在の記録を使つてある。これ 四ミリ在の記録を使つてある。 あとまだ一理問あるがこんで加つ かき場所的なものとならう、一ケギの 平均相景に九百八十ミリであるから 不均相景に九百八十ミリであるから

だつたから盛神被害も別合輝く済んだったから盛神被害も別合輝く済んである。 日都的には安東の敷護間一百六十ミリユ上の降神あり 日初週の折から選手物である。 日初週の折り返かに大きく泣れ番は何れる黄色く立結れてある

「清朝」まる十四日の窓間で沿州

國庫の補助を申請

なかつたものである

步七九聯隊

は紅米脚には緑水不能に陥る塊がめてあるが地域のまと桝直する時

て率うじて紹水に支弧なからし 水道水源地區に同送水路藏も破 し収在・透水観音の假手器によ

めり、これが復善上事段に二萬国 江道で軍隊の破職を始めて脱乾なると

大隊は二十二日金浦郡を通過して

【江華】 流山步兵七十九颗隆第三

るので仍然局では月下本版。放置を置け好成総を改めてゐるが

となってをり保由見電は所別をみ

無虚一萬數千名参與難に分列式を一つて同九時江東色内上市場で翻案

主領補助申請中である

はやくも爽凉の秋風吹

植地解館し水幣地番は金齶に割し、かり裏切られて例年よりの副散はのため過水番を部の水船が観々と「の後の葉雨網ぎと水器のためずつ

ゝある笠が選外の報に接し地方 | 宛れぬものと見られてゐる

のたゝめと、威水後も引散き雨天|北の農作物は今夏頭初の豫想がそ これた水野地の水稻中間を孕んで一にある模様であるが何れにせ上限 のるが調査医時助かるものと認め |四五日間延期するの已むなき事間

器では頭に根調査を行び配理する

るものと見られてある の五縁総で當日は相當議論影響す

出頭具さに報告することゝなつてては世四日細見地万課長が本府に

も右の線な状態で職象旅艦のため一般に配る第一回現狀報告に對して ことしなったが道殿が副で道内全

お天道樣いづこ

清州の臨時邑會 五重要案件を附議

霖雨續きで

水害地方は全滅か

質情を本府に報告

外浦里に向け出続したが、外浦里 時江華色内を二続に別れて内可面 時江華色内を二続に別れて内可面 時江華色内を二続に別れて内可面 で鑑進解をなした後見道面を話て、【LIII】 同語基合では二十三日文 と出血器の優待については回画基で鑑進解をなした後見道面を話て 【LIII】 同語基合では二十三日文 と出血器の優待については回画基 四日朝十時年は江華立之麓の

|ついて極々智識を行つた結果、大|らず々秋の仁川々を飾る媒大な脳| ことになつた||問き信例の《西記見本市《開賦に| 獣に国護祖台の年史行事にとよま||戦を監督し来 町に卸商組合の年中行事にとっま

の初中等校生

おすが、主催は形、磐藤所、囲西出合の三者合同で地方商人の歓迎 ま見本市により版く商品の紹介を 高別の取引があった ・ 昨年の如きは約五十

馬山府不時對策

に願へるべく、空市を大温に分け

び。身。く。**捨。** こ。に。さ。て。 る。は。全。置。

最⇒不健康地帶は花町

税御達はご注意

のもとに行はれ午後四階無事終る

西村、下段石から荒木、石見、岡田、

【理上競技】 本會場 品習グラウンド 4種目 百米、四百米、 千五百米、五十米、走市路、 土田等路 本道内大ヶ月以上 の定任者 4種目 間次、佐持取技 の上地者 4種以前数、一人三種 日以内、マラソンは原理を省き 三名以内推図の見込み) 「月道」 4會場 活州台道場本

【飲式野球】▲資場 無心川球 風▲田想資路 那銀育協育協の 排頭したものにして「郷」デー →▲試合方法 トーナメント式 【飲式庭球】トーナメント式

1年7月後期近端の第一宮代 和

修理に困難

辞画を必要とするが影響事務の重所属ランチ、曳船は埋のため三萬 婚丸の修理をなす外、管下支呂の 大な役割を演じてるる所屬船の修

危険な焚火

最後的打合せの上

こあるのを射圧住民が震気と監獄。 選出監網副合展の人家で火避び

窓路へ引渡したの一人大和町金女峠にごを押へ管

上廿日午後二時から地方衛年融を 「恒例の土田福」のに火花を認らし愈「塩蔥」繋が設置では本月七日以来 及德署武道納會

薬病膚皮だん進歩

特

(4) B 8

トランパッと解消して アコパッと解消して アコッパッと解消して

今すぐ穀間力の

れなく

なり

駅低房から二塁を離れる既地で連一啓が無くなり現在享楽寺屋を聽留「埋棄工事の實施概度によつては今底に大量であるが同部階は中康里」地帯の艦弾に伴つて適當を鬱留位」たため大小回渡業に慰慮を来たし **撒整から厭草の骨と葉に急行と時。用の膨平崩に大意町と牧の贔ប語。 地を五退かればならぬ弾目となつした。目下これが急遽を認れて向。 【釜山】釜川海内で高戦する荷役。 仏滅地先埋葬に鵬城して延復螺留** 置が無くなり現在草菜海岸を整留一畑栗工事の質励程度によつては今 業者ら對策を練る 力が扱へる、蛔虫も活動能等を力が扱へる、蛔虫も活動能ので軽いたや型すが、手十二指額虫の響風になかく、手力がよい。蛔虫はたかく、ラがよい、蛔虫はセメンやマクニンをのめばよい

御区院主任、矢野繁宗芸長立會日午明十時から組合事務所で神出 「年得」學制論員の選続は二十三 平澤學議戰

とかその他の方法で水利を促進器 取りは近く上頭を政節を聞いて狭いし翻選所側が井戸を捌るとか何 合せを行つたが、本耐へ映情の日 の操業も不可能なことが観射し雲「歴邦と鶯毘」「戦地于五百年施設は」「撃弾を総し大いに軍銃を揚げた立け水が潜線してゐて運輸が目暗」 世四日午間十一時時郷新聞、山本「曷に登し切替へ忠地に張いて記製 の代表、五島五郎、西鮮利人、福一日これが柳ば顔を結蹊、二十二数師にし聞工館護防と工業クラブの水流切替の實施を貯すべく二十数師にし聞工館護防と工業クラブの水流切替の實施を貯すべく二十 十萬個の容別について総後船の打 島原文郎の三氏と上田商諸理事が一日委員団を開催して本版館に道路

切替期成會

夏茂大館は三十一日(月)午後一〇年十一日(月)午後一〇年一日(月)午後で開館主催第二回水上

ところ假語與味の測をまくであり

たが復仁淳は流下する藁屋根に「火佐命とも挽へ騒い一頭の中と地屋から振り落され思ずは溺死し」と佐命とも挽へ騒い一頭の中と地たうとう濁流に腹はれて眞瓜小「里の一を天蛭が唯一の豚腔であり

八郎】奉化郡乃城画では今回の

に死以とて凝疏に固まれ動かない

上鮮に鰯群 ・ 一齊に出動 即完被人二等。 即完被他一郎(美 那人二等。中尾 是主人四等。即是

主

漁した で数日削から置る同方面へ向け出

一十四日節印 R報が還入つたの 脚版者網遮船は蔵 小部のまゝ待機中一 大田出銀中二 二十二百夜大

上流伊工治院、棉山南大震里で自一上流伊工治院、棉山南大震里で自一里地路の設立。

でいよく、災害地の實地踏査に赴

の消器が難を発れてゐる、近路面

我食をすまし都感動水柱若の聚内|地上五尺の数水で一般流光し一般

慘たる中に哀話や美談

涙ぐましきその報告書

動車を棄てた、この波胎型でも三

に酸はれて部形もれるない、同面

戸流失して騒骸の如く釜が縛がつ

一居りポプラの木が傍めに打倒れ

原上 二十四 りかぶれ

等 田 治 兵 衛 等 田 治 兵 衛 等 田 治 兵 衛 水ほうその

定假

¥0.20 ¥0.30 ¥0.50 ¥1.00

母全開祭店にあり

たので同様では我の精神に副ふべ 學校に一官官に第の銅像を寄附し 【水原】邑隋邑里神崎出吉氏は小

水原校へ寄贈

四强豪秘術を盡し

出場し続々たる晩夏の陽光の下 [698] 本心的神支局主温教运在 大阪第二日,二十三日は南部。 村、金伽殿、同窓僧の四強豪が 電船52100003

満鐵と岩村の兩軍に凱歌

1420201

6451139 图型小型

憲兵隊武道稽古

會寧軟式野球大會

觀衆唸る

動車六百数十級の多きに上つてあ

一体暇を終へ一層に第二學期を調へ一を受付け普局を繋かした、同校は一るので來春の新學期が非常に學教

「競技人型質に

川六名とい

本志願者」は
らず七十名を

収容し

無理して

・

羅津の日用

の忠魂碑

起債認可さる

松茸の

當り年

十日午前十一時から懸行

一鐵原に早くも走り

同九時頃広場で武衛気を

若松枝憂慮の現象

工費十七萬二千餘圓 産業に軍事に使命重大

睛の渡橋式擧行

「土壌」西に東に伸展しつよある。たがこのうち若松小學校の如きは「斑弦」の説式十名の定員にもかり

都市發展に伴はぬ教育施設

スの誘致運動を開始することにか

茂山鐵山は

全く素晴し

本府の木野事務官

「開城」 於歐法人開城降保留姓政

步七五聯隊

で十日たつた

事態監唆脱士の思遠牌除罪式を三 あるいろう

関き第十回武道大館を開催各署對

ニキビも消え

肌は

一年の走りが廿四日館かなから

に現れた、五六年前にも一度

抗試合を行ふ

脱型局出路所では人事採取刑が五 [****] 人 馨 生 産 香草 [開城] 式を場行

|昭午後五時散館| ソロマーヒン氏および通俗イワン 一輌日の構造の後二十日、第人

白頭山へ問題のブ氏

からいよく〜白頭山への本コース「懸ひつきであつた行は二十一日三長に鬱逝ニ十二日「西に蘭撒を望見し

儿原道警察

本社優勝カツブ外二等まで

九化公設コート

八月三十日午前十一時から

資温も少かつたが今年のは立

その時のは虫喰ひが

[1] 工風與電下養經費技論確

いては近かり窓路直後知事、急一段四英国を支出して翻館地方に勢

里見氏講演【英事】成一向つた

雄基の

深蓋人(阿羅·通のフレオニード・ 地質関事件で耳目を禁動さした白

リーナー氏は既報の通り十七日

城津道立醫院長のこ難

續いて方々に被害

發會式舉行

の土地質型管配手筒を終了すると

禰洲國地方行政の根底

趣旨を了解してその運用を誤るな

全間島省民政廳長の話

の横利、負担分性の腹筋を明か民とし街号の財産と登出物共用

四萬圓

態災民を潤す

年金を、住家流失、団戯者に對し

現地戦術演習 【 23]

してゐる貨船批報器に審替いたが「各所に同樣手段の需給宴職量事物」或のて觀戒に融起とたのてゐる弟ウイリス・プリーナー民が証益「入りの関系数を翻まれていて過行「れも同一級」と思ふ素為聲武綱を向くす朱乙華院副線における同比の「立境院及総合で観金」百五十倫園「では手口の同じところから見て何らず朱乙華院副線における同比の「立境院及総合で観金」百五十倫園「では手口の同じところから見て何 |十三日的内旭町木村道 | か識々として超つてゐるが妖 とも敦日中に指名人札に附し、和建築興催を進め、第二二兩市 塩で二十一日年後五時半り 月中には酸工せしめる野である 【質】加盤山の府盤住宅地 **生崩れで人**

手町二丁目一六三季組だったが た時間が崩れ落ちてそので

頭連」北部各巡を巡過す **凾舘見本市** 平野丸城津へ

燃したガス誘致

街の工業的發展に刺戟されて

初義州府民の新運動

ない。本は初等解釈の単大問題となつて と来た。有につき民間校長は総っ 大関一人の教員で六十名の生徒 大関一人の教員で六十名の生徒

岡工業者を招き見本市を明く 記見本市は來る九月二日商船が

横領面長送局

る様にしながらブドウ液でを み、殊戦後のキレイな皮膚に

み ウピングします

の二、三粒を皮をむいて彩が

てるます。

て皮膚を美しくする効果があ ものに含まれてゐるピタミン

げてこの程身棚を京城地方法院 鍵盤しその筋の取調べ一段落を

総雄比同小林牧子、相馬威北 | **か**庭よ本科的に逃行せんとする那

本地雄産品独山軍事務長。十る日用品市場は都計による

視察の感想を語る

総北 が総よ本約的に総行せんとする説 【 R典』 京城智寺製蔵現在の の地保護可は先観末一般から観音 | 二で咸風電気グラウントで開催 の地保護可は先観末一般から観音 | 二で咸風電気が勝つた

大豺幼女を攫る 長津新南面の椿事

愛知器 秋月ハルミ

には音々無難致したる事を信じます。(後略) Pソバカスは判 まだ十日目で 祭し致します アブラ顔と 吹出が止み

四井縣 泰田 贈子

で発動として最い。 かしても書い、でも傾しい頭が、一般がとして最い。 なりました (中略) 私はもと地部 とて保軟とすりない。 なりました (中略) 私はもと地部 とってをりましたが昨年の期間より (神野として最い。 でも傾しい頭が、網帯でいません。 なっちゅうしょう

- 4.2を続うてあ へる疑的と訴訟を難になりがから 仕組になってゐるレオン洗礼クリームを続うてゐ へる疑的と訴訟を難になってから見事 が使用の都肥を意に終生する機な ん。世間には美しきて大殿観んであます「中尉」」と、話し、これに、時間には美した。登場では際に光海が出て「本路」と、活場では際に光海が出て「本路性の子が厳な、陳蘭校門」といる。 日曜日には四 日此のシオン弁郎クリームを受用 化粧品が節約 も何時の間にかスツカリなくなりがしたくなり 似のアプラ性もなくなりを実出物 程のアプラ性もなくなり文吹出物するやうになりました相配で彼れ ます。能つて北保存に使めて販売自に扱入し微妙に耐も複雑に働き (世・助生物の知く活動し (現外駅)となりますと別力は教信となり、 皮膚の記れ、気化より脂肪中に自が出来ます)なんの配作用もなく 数割によれば其活動状態を見る事

をして頭やかに「角動自受動低型するしませ。 「キャン・の物」にます。な器に近極的を際には近、さ色黒の方でも様々に白くなり。 ・ニャン・の物」にます。な器に近極的を際には近、さ色黒の方でも様々に白くなり。 ・ニャン・の物」とでは、など、ショーのがでも様々に白くなり。 一驚く程色日に レオン商會(振芒東京八八一番)市神田區小川町 軍火丁目株式會社『レオン鉄鎖クリーム』 - は東京 の美しい腕になるのであります。 も自然に解消して見述へる配色自

愛國縣 山浦富士子 適隔の方は直接放棄元へ御申込か数の特約店のみ前戻してゐます



る事で、このためこまなこと、ませた。とのためこまなことでは一般で地別の美容の根本としては極勝酸である事で、このためこまなこと、ません。 美しくするには 野菜や果實の利用もよいが 液料は立脈な整肌再に利用出になった器でございます。 触べ信ら美しくなれると云ふですからこのごろは美しい果 た果物や野菜を描る事が飲へ めには常に充分な睥睨や遊展 を的く笑しくする事が第一條 ゃつと理想的なものがある を白く れらの自然物酸脂の乳酸が放射し上げたいのはことはない。然し得らことに御 所は組みの

ひは影動・野菜さのものにアクの強いものがあるために住々にしてブラインが出来却で脱れるがあるために住々にしてブラインが出来却で脱れるのが

ないます。これは果物や野菜とは比較になららいます。これは果物や野菜とは比較にならりました棚田コロイド麻酔を有の季川棚でございます。これは果物や野菜とは比較にならいます。これは果物や野菜とは比較にならい地更に入って他財品に関けてる事が出来る様になった。

を頭に、快い刺を を力あらしめま

7

をしてお飲め致します。(左記實験機能会 かき、小糖等でお肌の酸い方へは絶好の栗脈 がとしてお飲め食い筋い方やニキビ、ツベカス ざいますから色の筋い方やニキビ、ツベカス

したり、又添の花、棚駅で野、池したり、又添の花、棚駅で新聞と前町で新聞に瀬白った窓屋帽子を前町で新聞に瀬白った野屋帽子を頭がよく、黒くな 無常期の综合作用に依るものであ

もやみました

カスは薄らぎ

で確認が都白力の最い事や製剤力れて相似の効果を挙げてもますのというである。 題が此の確義も一旦コロイド状態 然し此の確認は、人の脳を美白にのある事は一般に知られてゐます 殿な質を別職費とは難りません。 駅作用を載したり其上投跡作用な際に挑組な儘では順を競したり、 てる美容剛として用ふる場合、 新

痛を緩和し、幾分塵爛面に對し收飲の作用を營むのみにして、尿に着 色流を緩和し、幾分塵爛面に對し收飲の作用を營むのみにして、尿に着 色光の を治が望み難いは、學理上に明瞭であり、齊しく慢性患者の體驗に見病の全治が望み難いは、學理上に明瞭であり、齊しく慢性患者の體驗に見病のを治が望み難いは、學理上に明瞭であり、齊しく慢性患者の體驗に見機」。表演 表述 表述 表述 表述 表述 原道の深部組織の溶集 (数壁、侧道、副层道)の淋漓の再發なき根治は、尿道の深部組織の溶集、数壁、侧道、副层道)の淋漓の再發なき根治は、尿道の深部組織の溶集、数壁、侧道、副层道)の淋漓の再發なき根治は、尿道の深部組織の溶集、数壁、侧道、副层道)の を呈するのも根抵ある殺菌作用に非ず、 特に内服薬を過信妄從に陷り易い初蔵染者に猛省を促す。 是等の地用は常套的胃腸、時間、害になる。 大な鉄路である。

服薬を過信し誤り易き 疾患者に猛 省を 勝求

其他療法の重大缺陷

醫學博士

П.

郎

ば糜爛尿道に避烈刺戟を東へ、患者の苦垢利底耐え得るもの 療法も断じて使用を傾むべきて、是等の濃厚薬液を使用すれ 解と同時に外部に流出し作用量僅微で到底殺菌は期待し難く 入薬は、粉末間形にして既に性能半減するに加へ、大半は溶 し、前部淋菌を後方へ逆移せしむ致命の危險を有ち、 且つ棒狀間形なるを以て尿道挿入後の排尿阻止は治療上、重き、唇になるに、 内服薬に型する過信を戒むと共に、洗滌、普通一般の注入 等液稀潔のものは後部器官(顕護腺、精系)を胃 等液稀潔のものは後部器官(顕護腺、精系)を胃 間形様

に歴史外心と証

特に尿道全組織に到達せしむ

ブラオンギンの

本から優へす金く新らしき現象を齊らせり。 側道、副尿道の深擴散菌に無缺のブラオンギンを主成分とするケンゴーまは、そので、4×2000 にからな もな 本物不治の感急を提 郎

慢性急性に對する具體的性能

異的無飲薬と認めらる完整特徴なり。 と共同的に醫治を迅速ならしむは、慢性尿道の殺菌限治上合せケンゴールが驚動感染、止膿各作用も賦興、ケンゴールに一丸治性、患腰尿道の急速散動感染、止膿各作用も賦興、ケンゴールに一丸治性、再腰尿道の急速散動 機範的に無菌状態に死滅し、完全な再競なき根治を呈し、消炎、鎭痛、收斂、程等はないない。 **類力と深圳浸塗性に振るものにして、** 即ち慢性尿道の適確殺菌はケンゴールに有する,ブラオンギンの特色、顕微的は あきばらず けかなら 數年、數十年の尿道潜伏菌も微細循底、

<u>観烈正確報館と尿道内に於ける透透急速なる本劑は、従って機量○・五円至</u>

安全にして確實な使用法

〇・七五程度、指頭大の規定使用を登むとれる権向もに随てるは軽重上明的異の影響を持つします道一般の注入薬が有つ危険に落だもなく、却つて物質の影響を対しまり、指導なり、下後部語的に在る淋(にもに随てるは軽重上明的場合とは、指頭大の規定使用を登むません。 ないして 独り本郷の誇り入する情値なり。

醫界に定説は局所

痛緩痛、程尿神体に留さまる、破内聚築を唯一に見做し淋漓の繁種を一类、に慢減度せら、淋疾音を一様するに在る。指軸方に乏しきか過感染者の多くが多い。 一緒に近に相戦を加へ変るは新事質を逡巡する思考で、一緒に近に相戦を加へ変るは新事質を逡巡する思考で、強闘界の事質不動の主意であり、今日、問題なる局所象の深觀浸達性の結合、微層界の事質不動の主意であり、今日、問題なる局所象の深觀浸達性の結合、微脈療法に振らさる泉り、慢性には聞より怠性、再変淋の展音を繋が可能は、原脈療法に振らさる泉り、慢性には聞より怠性、再変淋の展音を繋が可能は 軍人を痛感する。 性困難に轉移する遺憾に對し局所治療の徹底には害人醫師の惜しみなき努力の信息がある。

的に悲劇を解消せ

一般に本郷を使用、各部消炎の投資者将に敷土角を敷へ、焼栗の造具、淋疾の低に本郷を使用、各部消炎で投資者将に敷土角を敷入、焼栗の造具、淋疾の低に本郷を使用、各部消炎の投資者将に敷土角を敷入、焼栗の造具、淋疾の低に本郷を使用、各部消炎の投資者将に敷土角を敷入、焼栗の造具、淋疾の低に本郷を使用、各部消炎の投資者将に敷土角を敷入、焼栗の造具、淋疾の低に水郷を使用、各部消炎の投資者将に敷土角を敷入、焼栗の造具、淋疾の低に水郷を使用、各部消炎の投資者将に敷土角を敷入、焼栗の造具、淋疾の低い水郷を使用、各部消炎・投資者 限、各種關節炎、生命を瀕する産褥熱等の危險には根本の解消こそ安心で、これ、

解消し是等の障害を治療する作用をすら転興 世界的局所薬本類の完成をみ、患者の大臓 世界的局所薬本類の完成をみ、患者の大臓 に対する危險を明かに に対する危險を明かに は、とせる排泄薬は他に対する危險を明かに は、とせる排泄薬は、他に対する危險を明かに は、これの貴重なる多年の治療経過と悪談によって

たり、一、淋菌蛋白と結合せず破壞力强く迅

したる監唯態嘆の外無し。

初めて自宅に於て

淋菌全殺が可能

醫學博士

向 井 又

及び殺菌作用は、廿年經過の慢性淋患者たり

者本別治療を以て始めて一子を得たる例に

樂たるは實驗上明瞭なり、一 稀有の深達性

再後せる患者が本刺治療を以て淋菌死滅して

いす。正に本郷が治淋唯一潮たるの罪質は

水めんとし水め得なかつた最理想の局所銀織

で本州南浦失清澄泉に一髪せる二百數十例な 適の優信淋患者の本劑使用何れも三週間を出演なるは、 淋糸沈隆造だします。 連なるは、 淋糸沈隆造だしま 五ケ年以上網

治療後絕對再發無きは、

驚くべき淋菌殺滅の迅速

菌根絶例は最大數に有することを付言す。

指如上の外本側治療の世 指がよった。

本剤ケンゴールの主成分プラオンギンが驚い

的殺菌作用を有するは實驗上確認す。臨床性

五瓦入(約十七日量)参圓八拾錢 瓦入(約三十五日量)七

呈進代無献文

合名 會 社 理 店

出源──一號(急性用)、二號(優性用)、

瓦入(約五十七日堂)拾

(婦人用)あり、御胜文には御明配を引

號

全國縣店、百貨店に有り 品切は總代理店へ 大黑南海堂·藤田藥房新 井 藥 房·木村藥房

東京市芝區通新町十三番地

本剤の割期的貢献と信す。

電話三田一六八五・一六八六振 沓 東 京 三 五〇一九番

日東製藥合名會社製品 代用薬に御注意を乞ふ

正に治療界の革命とす

療法にのみ治淋は期待せられるが、費地的に 助剤たるのは明々白々たる事質であり、 正に治療界の革命だり。理論に供行せる質略成つて、ブラオンギン、ケンゴールを得たのは 京吉原遊廓吉原病院長佐藤榮氏の苦心研婚 見て完璧なる局所薬の出現を熟望の折柄前車 見ゆる内服薬に於て治淋的効果無く治療域 醫學博士 北 局所

本の局所薬を提べから変べせる末骨の治臓が治療をよいで有が、、量べきの活性があるの確壁は年間では、特別の脱酸圧酸がも過去六ヶ年間では、特別の脱酸圧酸がも過去六ヶ年間では、特別の脱酸圧酸がも過去六ヶ年の治臓が

醫學博士 松山七五郎

薬物の変見に努力せられた、圖らすも佐藤榮 東相呼應して設置作用、深途作用共に決定的 東相呼應して設置作用、深途作用共に決定的 東

危險の杞憂毫も要無し

頭須晋(七)下は三味納菊 が戦づた田舎衛年)ついで奪学太夫(右)と常野太夫 に網太夫(右)と常野太夫 に網太夫(右)と常野太夫 に網太夫(右)と

が囃づた田舎郡年 ― 廿五日安人 | 水田を贈されたので、篆の発酵産 | 殿も忠質に義地してみる終人墓跡ら泥棚だと思く1 といはれたこと | て見ると、今度の水郎ですつかり | はれた常弊評は、日本の園康邸を

ソである

時職京城西大門語へ大量あげて泣。十四餘間で豚の見を買込み、去る一の代表的なもので、

虎の子の十餘圏をタテ行けにだま。さ込んだ男がある、全北宗州地助

《人を見たら泥棒と思へ》

網は既に七十名を実破してゐる

城西方」に五名、奈曼峰に七名、

はるぐ、來城して

一度もだまさる

明してゐる地方は大平庄(田齊縣 | すと形に、本在版を中心とする州 となつた明とである地方は大平庄(田齊縣 | すと形に、東京間、大野、自城子間」るが、本語では新選州をはじる祖の解説師を除めてゐるが、日下観 の釈釈に関しては嚴重な概念をな、後望地の解説師に祝館を命ずるとの解説師を除めてゐるが、日下観 の歌歌に関して為を地方とれる地方は大平庄(田齊縣 | すと形に、本在版を中心とする州 となつた

洲四通語方面、京日級その他数 | 極級である。 防災性品は新京に於 | 支重の居住着は深山を転止し、

七十名に達し沿線に防疫陣

名流邦樂舞踊の夕

本社主催・廿九、卅日兩夜京城府民舘で

館成数は左記の無能器で削買中で

朝鮮内に侵入を防ぐ

中の場、左の如く後定した、本

漢江の失踪事件

能もあがらす身元も全然物らない。の男と地には、過じずはると、までに売めてあるが廿五日安まで死。ても保守仕事があると襲は仕まで見なって、行商人の人に京城にはと消した神士と突なの廷を保事件は、世二日年後隣月人で再に行くたと消した神士と突なの廷を保事件は、世二日年後隣月人で再に行くたと消した。

ってれば箸の歌だ、俺が赤十字墓。 經づてある大切な五頭を受取つご 洋股を買ってやらう」といって、瞬まで來て「その股度ちや取目だ に転載させてやらう」と協能のが 中吹迎段

『こぼれ梅娘お光』の一場面

追ひ越さんとして

チスと

痛の治療

自轉車少年を轢く

不埓な自動車運轉手

若柳吉二



本府學務局で詮衡

ると繋録らしいので來ましたとい



であるが、出血多量のため危害 防疫講演と映畵

斯和は目下衛駆病院で手當中

梁町龍山タクシー報語舞の観嘆す (部屋) は遊女お飾のまことを融 人とゝもに絽破するが、「均かりが自懸峭で走つてゐるのを、「第1日(三十日)の7諸路山色集」と「羅あらそび」の地峡を一 と言つた節 石福事件は送局

脱税→暴露し

人断の堪葉で闘み切ら、響きとこにすつかり割つて仕舞つてある。まら、おこん縁きり切から資土。京城の人とはすでに関連米派のは豚の口臓やかな茶質様の良に始し煮える。これをおこれで、これをおいます。

担日午後三時京販光位門一〇俳 に磨きのがせないところである

柳』と常磐津家元の名コンピは京 この他舞踊の『こぼれ府娘お光』

京城の人々はすでに創年米演の時 一事だらう、三味楽三郎のうまさは 早く取れるのに驚く節々や筋肉の痛みの

第三十日分二回二十銭約将四十銭代金川巻でも脚辺り中上げます。

年 願航 空 兵兵

東京他安派軍少年前公東方衛の要ながの問題呈来の前の要ながの問題呈来の問題呈

旅館開業

安東井

筒

安東五番班! 丁目

直

ク

レヨ

鉛筆

魔文 島文 県中 青

校

岩 市野干

タンス・津村

津村タンス店第一番である。



Bでも確れるから、この漁夫村で

世 良された、 計

井に乗つて漁に

住んでゐるが、この人の話によ 己芸宗範録氏は以前内可面の面

量エピを描へて して直座三間も

海の幸――おけばまだ――漁犬村

を入れて綱を投げたのである、果 | 込み自殺した、

午後二時五十分大邱瑟登山行第三

あるが、この猛者の来風に京城で

塞班步

は廿九日午後二時から酢塩軍

けぶの天氣

○事務員順心に迎最ある的

一列車が進行中、朝鮮人男が飛び

京差級曹省院、清道間を二十四日

老人の鐵道自殺

遠低なので物凄い張り切りやうで列車で来城する、全国跳野能初の

電話事務員募る

热动角以

落民の光景―佐々木記、岩本描く ら河本部長も巻じ立門の上、窓下

二十九日と三十日

京城では三大試合

四の鯉が飛び込んでゐたので、さの上へ投げた一綱に、なんと十一 氏が普頭とり、内可面の駐在街か 々を行ふとになった、組合質の宗 を動員して寄せ網による《開行り 台班その 翌日 関連かこの 村の 漁夫 リで沼地だけによく太つてゐる、 で尺二、三寸、大物は二尺タップ ,がの強夫選も驚いた、 小さい所 十七名の総数で廿七日午後三時若し遂げた四畿軍が井ノ川監督以下

事になった、こゝは水源地があり、 り水源地に酸重な防疫陣を張り葉 病菌が流れ込んでは一大事とばか

初日(二十九日)の素部貯暇は「陸に総光となつてゐる犹稼、恐る」東大門聖命生經は築総、あとの二」に建院徴録を顧行、解陸に究める」となってをり、非六日から処期にもだ。」(一)(一)「避や職級番局で水館の教派と断」はチフスと診断されたので観察! ケ里、七百七十戸、四手五十七人「京城舎行場は廿五日まで使用窓止ちだ。」(は歌づた――東部京城監過は東大・『中四日三名の駅舎が総生、一名(はサ六日から二日間、霧島間の七) 十四日次の「雨でお別菜の京城だけにとても巡して、水禍のあとへ逢に恐れてゐた病堂」へき撃手は逆に襲ふた蹇島即襲里」名は目下邮遊殿堂中だが、同窓で 十四日次の「雨で大小」」 からの陸雨でまたくく使用の見

となつてをり、廿六日から使用 卅日まで休止

ついて研究してゐたが、廿四日遊

してゐたが、廿五日包み切れず 一館り突銭四十旅園をつり

全國都市財流計場大震に開業をな一割中たが、秋のシーズンを呼ぶ無 五十錢均一、軍人學生三十錢) 「琺蜒とし興味を思いてゐる(料金

强力純ヴィタミンB製劑 (専責特許)

惡阻、便秘、榮養障害、姙婦の榮養 粉末・錠劑・液劑・注射液 本社 東京 京橋 ラチウム製薬株式會社 出張所 京都・福岡・奉天 各地築店にて販賣す

一般脚氣症、乳兒脚氣、乳兒綠便、

長谷川町、武田産婦人科園院の八月下旬より一ヶ月間 武田産婦人科博院内の大田産婦人科博院内の大月間の

交換・手芸点入用 本人来談の事 二 見 旗

給 仕 西部県校学業十五六 通監書機等本人衆議の単一要保証人 連業等の一ノ五 達業の一ノ五

告に限り特に登回にて掲載するは眺めの事目就職当

太大を東京日本義自宅に訪れる大大を東京日本義に懸じこせるのでもフェースの行ってゐる美しい人様を大衆に懸じこせるのでもフェースを大衆に懸じこせるのでもフェースを大衆に懸じこせるのです。ど

程を組ら怪盗が捕まった、去る五年の場合 【二川・当5】 仁川神能塩円の器質

入院随意

※ 京日案内

+

ひかれる夢を見て、小紫にゆり「に見せる家元の咽喉の冴えは絶對はれの身となり錦ヶ寨の刑郷に」と言つた處で「クドキセでカ、リニ駅人福八が品川郷の三浦居で抽」と言った處で「クドキセでカ、リニ 藁島の水害跡から

各=で、はじめは極力犯行を不

院長ノ牲腔へ可成

お賽錢を釣る

田病

村黄金町三丁目永祭町通り

山本家具店へ 本ビル三階の 本ビル三階の は

ら記憶だと思く」といはれたこと 「現ると、今度の水既ですつかり」はれた京修神は、頃花の魔太性と 自他共に新す都曲架のサンバーワ 行歌の京境人に再びきかせようと 歌人伝人が品川陽の三もの『無一文にされ、『人を記た、村西花川里原用者』『ご話を聞い』正月の常修神、頃花の魔太夫と顕一文字太夫は三昧線の第三郎と共に この文質後大様のサビをこの版、「腕の仇戮」(縮八、小りの一角)。 「一角」。 「一角」。 「一角」。 「一角」。 「一角」。 「一角」。 「一角」。 「一角」の作物は、頃花の葉太と歌一文字太大は三昧線の第三郎と共に この文質後大様のサビをこの版、 「腕の仇戮」(縮八、小りの一角)。 「一角」。 「一角」。 「一角」。 「一角」。 「一角」。 「一角」。 「一角」の作物は、頃花の作物は、頃花の葉な大と歌一文字太大は三昧線の第三郎と共に この文質後大様のサビをこの版、 「腕の仇戮」 (縮八、小りの一角)。 「一角」。 「一角」 語り手は文字太夫とその 今や最後のさらひに圧だくの文字

て参りました、あの大阪へは一郎年やはり御社に

水源地の附近でもあるので

東大門署防疫に努む

すつかり

造味を加へた十五代目家元。

日も、名残は惜しき暮の疏しせと見る時は日永の春のけふの祝しいも夢、かなしいも夢の怨いも夢の怨いも夢の怨いも夢の怨いも夢の怨いも夢の怨いしいも夢の怨いと言へはいい

宮、昭荷神社の聖銭祖を狙る怪器 月以來仁川神能境内の排天、天崩 十後八時半頃養養箱から金を釣り かあり最野神宮が野波中、廿三日